

科目名：応用化学実験Ⅰおよび
担当者：応用化学科各教員
授業（形態）：専門科目（実験）

科目英文名：Applied Chemical Experiment I and
単位（区分）：計6単位（A：必修）

[科目の主題と目標]

無機工業化学系、有機工業化学系、高分子化学系、工業物理化学系、材料化学系の各々の課題実験テーマを通じて高度な実験技術を修得させると共に、実験を通じて論理的な思考を養う。簡潔な報告書の書き方、口頭発表の進め方なども本実験を通じて行う。また、「応用化学実験Ⅰ」において化学情報処理技術に関連する実習を行う。

この科目は応用化学科の学習教育目標の（C-4）に関連する。

[授業内容・授業計画]

各年度の始めに安全教育とともに実験内容および実験計画の説明を行なう。課題実験のテーマは、教育効果をみながら適宜改訂される。

[教材]

資料は、適宜配布する。

[履修目標]

- (1) 実験技術・測定方法を実際に体を動かして体得する。
- (2) 実験結果のまとめ方を理解する。
- (3) 口頭での発表能力を養成する。
- (4) 化学に関する情報処理技術を修得する。
- (5) 自ら問題を解決する能力を修得する。

[受講生へのコメント]

課題実験テーマに関する討論も適宜行なう。なお、出席率90%以上に達しない場合は評価を行わない。

[成績評価の方法及び基準]

平常点（実験態度、グループ作業の成果等）(50%)、小レポートおよび口頭発表（実験結果などに対する解析力・考察力、レポート全般についての表現力など）(50%)を基に評価する。

- A：各履修目標の理解度の平均が80%以上に達している。
B：各履修目標の理解度の平均が70%以上に達している。
C：各履修目標の理解度の平均が60%以上に達している。

[学習相談の方法]

実験終了後に学生実験室で質問を受け付ける。なお、これに限らず柔軟に学習相談に応ずるので、電話かe-mailで各教員に問合せをすること。